

平成 29 年度
事業実施計画書

変更

公益財団法人やまがた健康推進機構

第一次中期運営計画 ～6つの目指すべき役割と基本姿勢～

1

検診事業等を通じて県民の健康寿命を延ばすための取組みを推進します。

2

離島・山間へき地等を含む県内一円において、県民への検診受診機会を幅広く提供します。

3

新しい検診技術の普及、県内検診機関の精度管理のベンチマークとして先導的な役割を担います。

4

受診者の目線に立った満足度と質の高い検診サービスを追求します。

5

職員の意識改革と職場風土の改革による活力ある職場づくりを進めます。

6

公益性と健全性が両立する自立した法人運営を確保します。

平成 29 年度事業実施計画

当法人は、第一次中期運営計画を策定し、6つの目指すべき役割とこれらを実現するための10の施策を掲げ、毎年度の工程表と目標を設定のうえ、職員考課制度と結びつけながら事業を推進してまいりました。

この間、事業収入の伸びの鈍化傾向は続いてはいるものの、組織を挙げた費用の抑制等により、計画前の赤字体質を脱却し、安定的な経営が確保されており、新たな検診の導入や固定資産等の計画的な整備、将来の投資に備えた資金の積立等も着々と進んでおります。

一方で、平成27年度における「がん検診の見直し」による影響はまだ大きくは発生してはおりませんが、全国的にも高い人口減少県にあつて、がん検診の受診者は大きく減少し続けており、また、収入の柱である人間ドックも減少し、がん検診の見直しの影響が懸念される中で、今後の経営をめぐる環境はますます厳しさを増しております。

このようなことを踏まえ、平成29年度は、2つの具体的な目標を設定し、その実現に向けて取り組むこととします。一つ目は、「顧客満足度日本一」、二つ目は、「事業収入33億円達成～がん検診の見直しの影響を早期に克服し、持続可能な経営に道筋をつける～」であり、これら2つのチャレンジを中心に、新規事業を盛り込みながら積極的に事業を展開してまいります。

また、お客様との接点を多くし、当法人の事業を更に理解してもらうため、山形検診センターに新たに渉外課を設け、新規の顧客開拓に踏み出すとともに、29年度の県事業に呼応し、全県的ながん検診の受診率向上キャンペーン等の事業を展開してまいります。

中期運営計画は、平成26年に策定しましたが、この間の検診事業等を取り巻く環境は大きく変化しており、事業の評価点検等を行い、計画の修正等を見直しを行ってまいります。

以下、10の施策について事業の詳細を記載いたします。

I 各種事業

施策 1 広報・啓発事業の推進

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 様々な機会、媒体を活用し県民に対して食生活や生活習慣の見直し、がん予防、検診の重要性等に関する知識の普及啓発を行います。
- ・ 事業推進にあたっては、広報目的を明確にし、費用対効果の観点も十分に検討しながら、効果的なものとなるよう検証していきます。

【主な目標】

- | | | | |
|---------------------|------------|--------------|---------------|
| ・ 県民参加型普及啓発イベント | 講演会等参加の県民数 | | |
| | H30 | 500人以上 | (H25 180人) |
| ・ 県民参加型普及啓発イベント | H29～ | 実行委員会方式への見直し | |
| ・ 若年者に対する健康、がん教育の推進 | H30 | 20校以上 | (H25 0校) |
| ・ 健康まつり等への参画 | H30 | 10ヶ所以上 | (H25 5ヶ所) |
| ・ 出前講座の開催 | H30 | 年間15回以上 | (H25 6回) |
| ・ ホームページ閲覧数 | H30 | 年間15,000件以上 | (H25 12,000件) |

【平成29年度事業計画】

(1) 重点啓発月間(9～10月)での啓発

- ・ 市町村広報紙の積極活用による重点月間の周知啓発

【目標】 検診受託の28市町村広報紙へ啓発記事を掲載。

- ・ 県民参加型イベント(みんなでひろげよう!健康の輪)を休止し、山形県主催の実行委員会方式の「やまがた健康フェア」等への参画、内容の充実
- ・ 各検診Cで独自のイベント企画、実施

【目標】 全検診Cでイベントを企画、実施。2,500人以上の参加。

(2) 児童、生徒に対する健康教室、がん教育の推進

- ・ 防煙に加え、がん予防に関するパンフレットの配布

【目標】 県内中学校50校以上

- ・ 教員等を対象とした、がん教育に関する研修会の検討

【目標】 平成30年度実施に向けた教育委員会との協議検討。

(3) 研修会、講習会の開催と職員の派遣

- ・ 事業所担当者向け研修会、市町村担当者向け研修会の開催

【目標】 ニーズに合わせた内容充実を図り、自治体等の予算編成の時期に間に合うよう各検診Cで年2回以上の開催。

- ・ 出前講座等の積極展開

【目標】 全検診Cで年30回以上の開催。

(4) 健康情報の発信、検診・精検等の受診勧奨

- ・ホームページ、SNS等の充実

各種検診及び精密検査等の受診勧奨。

【目標】 月1回の更新及び重点啓発月間(9～10月)での啓発強化。

疾患別の健康レシピの紹介。

【目標】 10回以上の更新。

健康体操、運動の紹介。

【目標】 季節ごとの更新。

年間アクセス数の増加。

【目標】 アクセス数15,000件以上。

施策2 調査研究事業の推進

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 検診、検査データの集計、分析等を行い、検診実施主体等に提供するなど有効活用に努めてまいります。
- ・ 各種調査研究活動を積極的に行い、質の高い検診事業を展開します。

【主な目標】

- ・ 検診等データ集計分析、情報提供 毎年度
- ・ 職員の研究発表 毎年度 5題以上 (H25 5題)

【平成29年度事業計画】

- (1) 検診・検査データの集計分析と実施主体等が必要とするデータの提供
 - ・ 事業年報の充実
見やすく、また経年変化がわかる統計データに考察等を盛り込んだ内容に充実。
【目標】 平成28年度版 平成30年2月発刊。
- (2) 外部研究機関等への研究事業協力
 - ・ 研究事業等への協力、データ提供
【目標】 大規模臨床研究に対し、検診データ等提供、協力。
 - ・ 外部団体からの協力依頼に対し、検診・検査データを提供
【目標】 山形県、山形県医師会、日本対がん協会、日本乳癌検診学会、日本消化器がん検診学会の5団体へのデータ提供。
- (3) 各種学会等における職員の研究発表
 - ・ 検診・検査データを活用し、職員が学会等で研究発表
【目標】 年間 5題以上発表。
 - ・ 全国組織の学会での研究発表
【目標】 年間 5題のうち1題以上。

施策 3 検診受診率と精密検査受診率の向上

【事業推進の基本的考え方】

- ・行政、企業等関係機関と連携し、検診受診率・精密検査受診率の向上のための取組みを強化します。
- ・疾病予防の観点から重要視される特定保健指導の内容を充実し、利用者を拡大します。

【主な目標】

- ・未受診者への受診勧奨 毎年度実施（前年度を上回る実施）
- ・精密検査受診率向上 前年度精密検査受診率を上回る。
(H24 胃81.4%、大腸71.8%、子宮頸81.5%、乳87.1%
肺86.6%、腹部超音波76.7%、前立腺73.9%)
- ・特定保健指導利用者拡大 H30 年間2,600人以上 (H25 2,382人)

【平成29年度事業計画】

(1) 県が実施する県民みんなで取り組む『がん対策県民運動』との連携

- ・県が新たに設ける「がん検診推進強化月間」に実施予定の「がん検診受診率向上キャンペーン」に呼応し、県内関係機関と一緒にがん検診の受診勧奨を全県的に展開

【目標】 詳細は、県補助事業確定後。

(2) 検診申込者への事前連絡と検診未受診者への受診勧奨強化

- ・未受診者対策強化のため、各検診Cで工程表策定、実施
【目標】 市町村と協議し、具体的な対策を7月まで決定。
協会けんぽ受診勧奨事業所リスト掲載の全事業所訪問。
- ・人間ドック受診者への事前連絡の拡大
【目標】 検診受託の28市町村で実施し、検診申込者の100%受診。

(3) 特定保健指導の利用拡大

- ・協会けんぽと連携し、指導実施、対象者の確保、拡大
【目標】 当日指導の利用勧奨、閑散期利用の拡大により180名増。
訪問事業所20社以上選定、訪問。
拒否による中断者率を5%以内。
- ・指導結果の効果等の分析、評価を確実に実施
【目標】 評価方法を検討し、検診委員会でH28事業の評価、指導。

(4) 精密検査受診率向上対策の展開

- ・職域検診における精検受診率の向上
【目標】 総合的なサポートの観点から、必要に応じ精検の受診予約までのフォローを実施。各がん検診の精検受診率90%以上。

施策 4 満足度と質の高い検診サービス等の提供

【事業推進の基本的考え方】

- ・受診者ニーズを踏まえた質の高い多様な検診サービスメニューの充実、接遇の向上、検診結果通知の迅速化等、検診環境の整備を進めます。
- ・高度の検診機能を担っている病院との役割分担を検討し、検診機関としての今後の検診機能の方向性を整理します。
- ・自治体、事業所等の健康支援を強化し、県民の健康づくりを支援します。

【主な目標】

- | | | |
|------------------------|------|---------|
| ・オプション項目推奨マニュアル作成 | H26 | |
| ・新たな検診メニューの検討・開発 | 順次実施 | |
| ・苦情等を生かす仕組みづくり | H26 | |
| ・接遇指導者の養成と指導 | H26～ | |
| ・検診時の託児対応 | H29 | |
| ・病院との役割分担の整理 | H27 | |
| ・自治体、事業所等への健康づくり施策への支援 | H26～ | 年間10回以上 |

【平成29年度事業計画】

(1) がん総合相談支援事業（新規：山形県からの受託事業）（受託事業8,646千円）

・医療や就労等の様々な悩みについて、気軽に相談できる「山形県総合相談支援センター」を山形市（山形検診センター）、同支所を酒田市（庄内検診センター）に設置し、病院では相談しにくい問題を抱えるがん患者や家族などの不安軽減を図るため、専門の医師、看護師等による面談、電話等による無料の相談等を県内全域を対象に平成29年10月1日から実施。以外にも検診センターでは、案内機能を担う。また、各種イベント等において出張相談、啓発活動を実施する。また、がん患者、その家族や広く一般の県民を対象に、ピアサポーター養成講座を開催し、ピアサポーターを育成するとともに、ピアサポートセミナー、交流会等のピアサポート活動の支援を実施する。

- ・がん相談

【目標】 電話相談及び面談相談 100名

- ・ピアサポート活動の推進

【目標】 ピアサポーターの養成講座（2回開催 参加者20名）

ピアサポーター交流会（1回開催 参加者20名）

ピアサポートセミナー（1回開催 参加者50名）

(2) 受診者ニーズに対応した検診サービスメニューの充実

（関連：施策6-（3）新しい検査技術の導入）

- ・受診者アンケート調査の実施

受診者満足度を高め、ロコミによる受診者増

【目標】 受診者アンケートを上期、下期2回実施。受診者満足度90%以上達成。

- ・HPV併用検診の拡大

【目標】 平成30年度 5団体以上の増加。

- ・乳エコー検診

【目標】 山形Cに加え、庄内Cにおいて開始、計画的に技術者養成。

レディース検診や人間ドックで実施し対象者受診率30%。

(3) スムーズな検診と検診所要時間の短縮

- ・検診時の待ち時間の短縮

施設に総合案内配置や検診フロアの配置見直し等の工夫。

【目標】 繁忙期2時間以内、閑散期1時間30分以内。

(4) 接遇の向上

- ・指導者養成、接遇コンテストや標語ポスター掲示、接遇チェック等による職員意識の向上
- 【目標】 接遇満足日本一をめざし、接遇満足度100%。(アンケート調査結果)

(5) 検診結果通知の迅速化

- ・正確で迅速な検診結果通知

【目標】 繁忙期3週間以内、閑散期2週間以内。

3ヶ月に1回程度、定期的の実態調査し、状況把握と改善の実行。

(6) 女性に優しい検診環境の整備

- ・県事業(がん検診受診率向上キャンペーン)に呼応し、休日の子宮がん、乳がん検診を拡大

【目標】 詳細は、県補助事業確定後。

- ・山形検診センターにおいての時間外乳がん検診を通年実施

【目標】 月1回実施。1回あたり10人。

- ・検診時の託児サービスを事業所・自治体と調整・検討

(7) 病院との役割分担の整理

高度医療を担う病院との役割分担、精密検査実施機関との連携強化における課題を整理し、新しい検査技術の導入に向けた検討、準備を行う。

- ・CT検査導入の課題整理、CT導入整備計画の策定

- ・腫瘍マーカー、胃内視鏡検査導入に向けた検討

【目標】 平成29、30年度で方向性決定。

(8) 自治体、事業所への健康づくり施策への支援

- ・出前講座、事後指導(禁煙指導等含む)の積極展開、自治体・事業所が行う健康支援事業への協力

【目標】 健康支援事業への協力回数10回以上。

有所見率・要精検率の高い事業所5社選定し、事後指導実施。

施策 5 検診の精度管理と事業評価

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 検診委員会の評価指導、専門職の技術のレベルアップ、症例検討委員会等の継続的な開催に向けた環境整備を行い、検診の精度向上に努めます。
- ・ 医師会と連携した読影医師の確保を行うとともに、高速ネットワーク通信を活用した読影体制の構築を行い、読影環境の整備に努めます。
- ・ 人為的なミス、事故を防止するための取組みをさらに強化します。

【主な目標】

- | | | |
|-------------------------|-----|--------------------|
| ・ 外部機関による精度管理評価 | 毎年度 | 最上位評価獲得 |
| ・ 高速ネットワーク通信を活用した読影体制構築 | H26 | 将来構想策定 |
| | H29 | 実施 |
| ・ 事故防止対策の見直し | H27 | 見直し、対策決定 |
| ・ ミス、トラブルの減少 | H30 | H25件数の半減 (H25 73件) |

【平成29年度事業計画】

(1) 精度管理の維持・向上と事業評価

- ・ 6つの検診委員会、県生活習慣病検診等管理指導協議会における精度評価等を実施
- ・ 精度管理と事業評価

【目標】 がん検診事業評価の指標を達成

精検受診率 各がん検診90%以上

要精検率 胃(11.0%以下) 大腸(7.0%以下) 肺(3.0%以下) 子宮(1.4%以下) 乳(11.0%以下)

がん発見率 胃(0.11%以上) 大腸(0.13%以上) 肺(0.03%以上) 子宮(0.05%以上) 乳(0.23%以上)

陽性反応適中度 胃(1.0%以上) 大腸(1.9%以上) 肺(1.3%以上) 子宮(4.0%以上) 乳(2.5%以上)

- ・ 外部機関による精度管理評価

【目標】 最上位評価獲得

- ・ 外部機関による評価の検討
- ・ 専門技術職の技術向上

【目標】 対がん協会研修、症例検討会、学会等への計画的な派遣

各種検(健)診委員会 平成29年度実施及び検討事項

検(健)診委員会名	委員会人数		事項
	委員	事務局	
人間ドック・循環器等健診合同委員会	7名	7名	<ul style="list-style-type: none"> 資料の各種検診実施状況の有所見率については判定区分別に分析して報告する。 推定食塩摂取量検査と血圧の相関がみられるので任意型の推奨項目として拡大を図り保健指導の活用につなげる検討をする。 特定保健指導評価の数値の有意差を検討する。 スパイロメーターの禁忌事項を注意事項として取りまとめる。
消化器検診委員会	5名	5名	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診の新たに導入される読影区分・管理区分における読影医の背景胃粘膜診断力の均てん化を図る方策を講じる。 大腸憩室がある場合の胃がんX線検診受診の可否について検討する。 胃リスク評価のデータをリスク評価結果ごとにまとめ検査精度の評価を受ける。 腫瘍マーカーの導入に向け課題を整理する。
呼吸器検診委員会	5名	5名	<ul style="list-style-type: none"> 読影の精度向上のため各医師会ごとに症例検討会を開催する。 各検診センターごとの要精検率、陽性反応適中度等を国の事業評価指針と比較した資料を作成し報告する。 肺年齢を活用したCOPDスクリーニング検査の評価コメントの検討及び周知パンフレットを作成する。
子宮がん検診委員会	4名	5名	<ul style="list-style-type: none"> 精検受診率向上のため勧奨方法まで盛り込んだ契約書等を検討する。 H P V併用検診を推進するにあたり検診の流れ等がわかりやすいパンフレットを検討する。 「精密検査の医療機関名」の明示について関係機関と協議する。 H P V併用検診の精度評価を受ける。(H P V検査を導入したことによる成果)
乳がん検診委員会	5名	5名	<ul style="list-style-type: none"> 新たな自己検診のパンフレットを活用して自己検診の重要性を啓発していく。 マンモグラフィと乳房超音波の総合判定を視野に入れた読影体制を検討する。 マンモグラフィ陰性のがん症例について年齢、乳腺評価、自覚症状等の詳細を把握し症例検討会で報告する。 マンモグラフィ画像の保存期間について検討する。
超音波検診委員会	5名	5名	<ul style="list-style-type: none"> 超音波検診判定マニュアルの判定区分と集計内容を調査する。 判定区分の受診者への説明と周知を検討する。

(2) 読影体制強化

- 読影医師の確保
 - 【目標】 読影の負担に偏りがないう県医師会、地区医師会等と連携を図り、適切な医師数を確保。
- 機構独自の症例検討会を各検診Cで開催
 - 【目標】 年2回以上
- 高速ネットワークを活用したマンモ遠隔読影の充実
 - 【目標】 4～12月 月2回

(3) リスクマネジメントの推進

- 平成28年度整備体制の実行
 - 迅速な報告、明確な指示、本部会議・各支部会議の定期開催、事例の検証、対策の実施点検等。
 - 【目標】 レベル1… 目標 前年度報告件数から半減(200件減)
レベル2以上… 目標 前年度報告件数から半減(50件減)
- 職員への周知・伝達の実態調査
 - 【目標】 年2回

施策 6

ICTの積極的な活用と新しい検査技術の導入

【事業推進の基本的考え方】

- ・ ICTの積極的な活用を行い、地域医療との連携と事務の効率化を図るとともにニーズを踏まえた新しい検査技術の導入を進めます。
- ・ 個人情報を取り扱う事業者として、内部研修、内部監査を強化し厳格な保護管理を行います。

【主な目標】

- ・ 医療情報ネットワークへの参加 H26 方針決定
- ・ 基幹システムの更新 H26 開発計画策定
H26～H28 プログラム修正
- ・ HPV併用検診の導入 H26 方針・方法決定
H29 実施

【平成29年度事業計画】

(1) 医療情報ネットワークへの参加

- ・ 医療情報ネットワーク（ちょうかいネット）の対象拡大

【目標】 心電図追加し、8月稼働

(2) 基幹システムの更新

- ・ 新たな基幹システムへの更新

【目標】 平成29年度整備計画策定、基本設計等実施
平成31年度運用開始

(3) 新しい検診技術の導入

- ・ 骨粗しょう症検診

【目標】 平成30年度実施のための検討、準備

- ・ COPD検査

【目標】 平成30年度実施のための検討、準備

- ・ 人間ドックにコース別設定

【目標】 平成30年度実施のための検討、準備

- ・ 腫瘍マーカー導入に向けた検討

（再掲）

- ・ 胃内視鏡検査導入に向けた検討

（再掲）

- ・ CT検査

（再掲）

- ・ 新しい検査技術の導入に向けた情報収集、検討

(4) 各種の情報公開の推進、個人情報保護に係るセキュリティの強化

- ・ Pマーク取得の検討

【目標】 平成29年度に、情報収集、方向性決定

- ・ 内部監査による実行確認、管理ツールによる情報漏えい監視強化

【目標】 内部監査年1回、情報漏えい監視常時

施策 7 計画的な検診機器等の整備更新

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 検診精度の向上等を図るため、X線機器のデジタル化を計画的に進めます。
- ・ ニーズを踏まえた質の高い検診サービスを提供するため、検診機器等の整備更新を計画的に進めます。
- ・ 検診車の効率的な配置・利用について検討します。

【主な目標】

- ・ X線機器のデジタル化 H28 整備完了
- ・ 新たな固定資産整備計画の策定 H28
- ・ 検診車の効果的な利用を図るための配置、台数等の検討 H26～27

【平成29年度事業計画】

(1) X線機器の完全デジタル化への移行

- ・ アナログ車からDR検診車への更新

【目標】 コンパクト仕様の呼吸器検診車を作製し、12月稼働

(2) 固定資産等の計画的な取得、更新

- ・ 固定資産等の長期使用

(3) 検診車の効率的な配置検討

- ・ 管理集中等での効率的な配車

【目標】 胃がん検診に係る実施主体の動向を調査し、減収対策と併せ配車計画を10月まで決定。

車両配置

(単位：台)

	胃がん検診車	胃部・呼吸器 併用検診車	呼吸器検診車	子宮頸がん 検診車	循環器健診車	循環器・超音波 併用検診車	計
山形検診センター	2	3	2	1		1	9
庄内検診センター		2			1	1	4
最上検診センター		1					1
米沢検診センター							0
南陽検診センター		2					2
計	2	8	2	1	1	2	16

平成29年4月1日現在（車両更新、配置換え前）

施策 8 安定的な収入確保対策

【事業推進の基本的考え方】

- ・様々な環境変化に柔軟に対応できる自立した法人として、持続的・安定的な事業運営を推進するため、あらゆる対策を講じます。
- ・コスト意識の組織内浸透と経費節減に対する総合的な取組みを強化し、収支均衡を確保します。

【主な目標】

- ・検診事業収入 H30 314,100万円（平成25年度298,047万円 伸び率5.4%）

山形検診センター107,300万円（平成25年度101,712万円 伸び率5.5%）

庄内検診センター79,400万円（平成25年度77,204万円 伸び率2.8%）

最上検診センター46,100万円（平成25年度42,460万円 伸び率8.6%）

米沢検診センター36,200万円（平成25年度34,734万円 伸び率4.2%）

南陽検診センター45,100万円（平成25年度41,935万円 伸び率7.5%）

- ・各検診センター課題整理、個別対策決定 H26～H27
- ・新たな受診者の拡大策 H26～ 取りまとめ、実施
- ・受診者のリピート率 H30 5年間増加（H25 79.3%）
- ・渉外戦略策定 H27
- ・新規事業所等訪問件数 H30 100社
- ・検診料金在り方検討 H27 新料金(案) 決定
- ・競争入札への対応 H28 方針決定
- ・維持会員募金 H30 400万円以上
- ・複十字シール募金 H30 80万円以上

【平成29年度事業計画】

(1) 受診者数の数値目標の設定等

- ・受診者数の増加対策と数値目標を各検診Cで設定
 - 【目標】 平成31年度までの3か年で33億円達成。
3か年の増収対策を設定。
3か年ごとに検診項目ごとの目標額を設定。
- ・各検診センターの各種検診計画人員（別表のとおり）

(2) 利用者数、受診者数の増加対策の推進

- ・がん検診減少対策の策定
 - 【目標】 減少の要因分析、対策を策定し、前年度実績を確保。
がん検診見直しに係る経過措置を周知し、減少を防止。
実施主体の動向調査実施(8月)
- ・WEB予約システムを全センターに拡大
 - 【目標】 事業所からの申込機能を追加し、利用しやすいシステムを稼働(7月)

(3) **積極的な渉外活動の推進**

- ・山形検診センターに渉外課を新設し、体制を強化

【目標】 事業所、自治体等との連絡調整、新たな顧客獲得機能を強化。
積極的な渉外活動を展開し、新規事業所訪問。100社以上。
若い世代のがん検診受診者の開拓。
各検診センターでの重点目標の設定、活動の実施検証。

(4) **競争性を確保した公益法人として適切な検診料金の在り方と競争入札に対する方針の決定**

- ・検診料金の見直し

【目標】 東北各県検診機関等のデジタル料金の把握、改正に向けた検討。
冬期料金の設定等閑散期における集客対策に結びつく料金設定の検討。
競争入札に対する情報収集と類似団体の対応策等の調査。

(5) **維持会員、複十字シール募金等寄付金拡大**

- ・募金協力件数、募金額の設定

【目標】 複十字シール募金の拡大 80万円以上。
新規募金依頼先の開拓。

各種検診事業・受託事務計画人員

(単位：人)

検診・検査項目	平成29年度 計 画	平成28年度 決算見込	増減	山形検診センター		庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター			
				計 画	決算見込	計 画	決算見込	計 画	決算見込	計 画	決算見込	計 画	決算見込		
特定健康診査	55,040	54,328	712	18,690	18,360	16,570	16,520	5,440	5,142	4,150	4,091	10,190	10,215		
特定保健指導	3,005	2,825	180	1,090	1,070	625	555	695	657	270	246	325	297		
生活機能評価	0	0	0												
胃がん検診		48,270	48,740	△ 470	18,700	18,690	11,920	12,080	3,660	3,693	5,570	5,557	8,420	8,720	
	(単+ド+全)	100,890	100,019	871	33,000	32,600	25,460	25,447	13,785	13,772	11,740	11,465	16,905	16,735	
大腸がん検診		67,185	66,452	733	24,660	24,230	17,460	17,225	5,575	5,560	7,090	6,992	12,400	12,445	
	(単+ド+全)	131,050	129,029	2,021	42,630	41,800	34,150	33,725	17,675	17,566	14,240	14,028	22,355	21,910	
子宮頸がん検診	細胞診	18,595	18,597	△ 2	5,180	5,030	4,240	4,340	1,865	2,070	2,500	2,446	4,810	4,711	
	(単+ド+全)	36,895	36,324	571	11,740	11,435	9,210	8,991	3,970	4,319	4,490	4,358	7,485	7,221	
	HPV併用	649	814	△ 165	220	250			429	564					
(単+ド+全)	1,734	1,903	△ 169	500	515			1,234	1,388						
乳がん検診	マンモ単	6,415	3,693	2,722	1,590	740	1,195	975	1,735	1,889	1,360	59	535	30	
	(単+ド)	19,570	11,284	8,286	6,770	3,810	3,605	2,400	5,020	4,949	2,620	89	1,555	36	
	併 用	11,605	14,429	△ 2,824	2,840	3,740	2,115	2,333	835	904	1,130	2,367	4,685	5,085	
	(単+ド+全)	17,220	25,494	△ 8,274	4,890	8,000	3,485	4,438	1,010	1,619	1,450	3,777	6,385	7,660	
	視・触診	285	315	△ 30	0	0	80	84	205	205	0	26	0	0	
	(単+ド)	285	318	△ 33	0	1	80	84	205	207	0	26	0	0	
	乳房超音波	210	130	80	210	130									
個 別 (X線)	50	44	6			10	8			10	6	30	30		
呼吸器 検 診	肺がん 検 診	X 線	56,055	54,720	1,335	19,860	19,290	15,990	15,940	6,875	6,211	3,560	3,454	9,770	9,825
		(単+ド)	90,990	88,673	2,317	32,200	31,370	24,730	24,494	14,225	13,537	5,700	5,402	14,135	13,870
		喀 痰	2,335	2,309	26	1,120	1,100	320	320	270	264	220	210	405	415
	(単+ド)	3,020	3,036	△ 16	1,300	1,285	400	412	630	630	235	234	455	475	
結核 検 診	X 線	25,100	25,864	△ 764	14,520	14,629	4,030	4,051	1,525	2,178	2,825	2,808	2,200	2,198	
	(単+定+ド+全)	110,840	110,896	△ 56	41,450	41,439	25,140	25,046	12,165	12,749	16,985	16,684	15,100	14,978	
人 間 ド ッ ク	36,445	35,620	825	12,780	12,570	9,275	9,050	7,715	7,691	2,250	2,189	4,425	4,120		
全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防検診	30,500	29,801	699	5,950	5,800	8,350	8,180	4,900	4,820	5,350	5,241	5,950	5,760		
腹部超音波検査	(単+全)	35,155	33,613	1,542	11,800	11,590	8,010	7,010	6,190	6,083	4,000	3,970	5,155	4,960	
		36,040	34,450	1,590	12,050	11,820	8,220	7,200	6,350	6,233	4,130	4,102	5,290	5,095	
一 般 検 査	定	A健診	53,690	53,893	△ 203	19,650	19,650	12,870	12,915	5,690	5,769	8,270	8,225	7,210	7,334
	健	B健診	15,670	15,629	41	7,550	7,600	3,350	3,345	970	970	2,750	2,704	1,050	1,010
	その他(延べ件)	552,915	547,962	4,953	217,150	217,030	119,905	118,925	58,655	56,895	89,000	88,982	68,205	66,130	
学 校 検 診	(延べ件)	50,210	50,776	△ 566	4,150	4,231	19,650	19,860	6,950	6,982	15,660	15,760	3,800	3,943	
細胞診検査	(件)	5,910	6,100	△ 190	5,910	6,100									
前立腺がん検診		22,950	22,684	266	7,050	6,920	8,340	8,335	2,735	2,701	1,550	1,493	3,275	3,235	
骨密度測定	US	14,800	14,981	△ 181	1,120	1,246	6,400	6,545	2,405	2,396	1,750	1,699	3,125	3,095	
	DXA	2,910	2,674	236	2,910	2,674									
肝炎ウイルス検診		3,510	4,113	△ 603	500	480	845	950	935	1,071	200	557	1,030	1,055	
受付問診等	人	4,383	3,584	799	2,668	1,861	904	928	250	242	55	48	506	505	
料金徴収	件	27,470	27,345	125	8,020	7,780	9,230	9,250	3,355	3,335	0	0	6,865	6,980	
結果送付	件	86,490	85,133	1,357	36,920	35,892	26,370	26,435	12,245	11,890	1,100	992	9,855	9,924	

(注1) 単=単独検診 定=定期健康診断 ド=人間ドック 全=全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防検診
(注2) 上記各種検診には、離島や過疎地における出張検診、社会福祉施設等の健康診断を含む

各種検診事業収入計画

(単位：千円)

検診・検査項目	平成29年度 計 画	平成28年度 決算見込	増減	山形検診センター		庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター	
				計 画	決算見込	計 画	決算見込	計 画	決算見込	計 画	決算見込	計 画	決算見込
特 定 健 康 診 査	386,355	379,547	6,808	130,599	127,908	116,550	116,179	38,707	36,485	28,961	28,481	71,538	70,494
特 定 保 健 指 導	33,372	31,055	2,317	12,309	11,975	6,914	6,217	6,630	5,896	3,435	3,179	4,084	3,788
生 活 機 能 評 価	0	0	0										
胃 が ん 検 診	224,935	227,106	△ 2,171	86,814	86,838	56,100	56,825	17,175	17,318	26,283	26,203	38,563	39,922
大 腸 が ん 検 診	107,496	106,323	1,173	39,456	38,768	27,936	27,560	8,920	8,896	11,344	11,187	19,840	19,912
子 宮 頸 が ん 検 診	78,923	80,086	△ 1,163	22,260	21,870	16,960	17,360	10,463	12,228	10,000	9,784	19,240	18,844
乳 が ん 検 診	84,461	90,155	△ 5,694	21,433	23,135	15,700	16,170	10,465	11,344	10,236	12,496	26,627	27,010
呼 吸 器 検 診	89,576	88,550	1,026	36,186	35,554	22,271	22,238	9,795	9,513	7,050	6,885	14,274	14,360
人 間 ド ッ ク	762,827	750,156	12,671	276,481	274,408	185,796	181,391	157,850	159,456	47,080	45,796	95,620	89,105
全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防健診	498,866	483,429	15,437	97,528	94,372	135,270	131,916	78,284	76,455	90,454	87,233	97,330	93,453
腹 部 超 音 波 検 査	140,620	134,452	6,168	47,200	46,360	32,040	28,040	24,760	24,332	16,000	15,880	20,620	19,840
一 般 検 査	643,976	642,041	1,935	243,000	243,755	158,992	157,452	67,844	67,071	96,406	95,999	77,734	77,764
学 校 検 診	28,151	28,285	△ 134	2,393	2,433	9,998	9,890	5,062	5,078	6,950	6,998	3,748	3,886
細 胞 診 検 査	6,619	6,832	△ 213	6,619	6,832								
前 立 腺 が ん 検 診	50,490	49,904	586	15,510	15,224	18,348	18,337	6,017	5,942	3,410	3,284	7,205	7,117
骨 密 度 測 定	17,660	17,331	329	6,716	6,344	5,120	5,236	1,924	1,916	1,400	1,359	2,500	2,476
肝 炎 ウ イ ル ス 検 診	10,074	11,823	△ 1,749	1,427	1,371	2,442	2,747	2,695	3,089	556	1,590	2,954	3,026
受 託 料 収 入	42,343	40,388	1,955	18,692	18,027	9,871	9,982	4,143	3,952	2,650	2,636	6,987	5,791
合 計	3,206,744	3,167,463	39,281	1,064,623	1,055,174	820,308	807,540	450,734	448,971	362,215	358,990	508,864	496,788

(注1) 千円未満切り捨て

施策 9 効率的な業務の執行

【事業推進の基本的考え方】

- ・新たに職員提案制度を導入するとともに、組織間の連携協力体制を強化し、効率性の高い検診を行います。
- ・意志決定のプロセスを明確にするとともに、情報を共有する場として定期的に管理者会議を開催します。
- ・契約制度の見直し、コスト節減に向けた運動等を行い、経費節減のための取組みを強化します。

【主な目標】

- | | | |
|---------------------|------|---------|
| ・職員提案制度 | 毎年度 | |
| ・契約（調達）制度の見直し | H27 | |
| ・業務の外部委託 | H28 | 委託業務決定 |
| ・経常収支の収支均衡 | H26～ | 毎事業年度 |
| ・財務関係目標値
(健全な運営) | H30 | 別表3のとおり |

【平成29年度事業計画】

(1) がん検診見直しに対する緊急対策を策定

- ・胃がん検診受診者減少対策
(再掲)
- ・収入増加対策
(再掲)
- ・人件費を含めた費用抑制対策
【目標】 人件費率を検診事業収入の60%未満とする。
- ・検診料金の改定
(再掲)
- ・長期性預金の積立
【目標】 5億円以上。

(2) 効率性の高い検診の確保

- ・職員提案制度の充実、実施
【目標】 昨年度実施の3提案の継続実施及び現行制度での提案募集。10題以上。

(3) 経費節減に向けた取組みの強化対応

- ・機器選定委員会、業者指名選定委員会、競争入札制度等の開催、実施
例) 50万円以上の印刷の発注、100万円以上の物品の購入、業務の委託、修繕、請負等については委員会で審議
10万円以上の契約については、全て3社以上の見積もり徴取
- ・外部委託
付加価値の低い業務については、外部委託の検討
委託事業の選定、決定
【目標】 平成29年11月までに行い、次年度予算に反映。

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 検診機関をめぐる様々な環境変化に柔軟に対応できる組織づくりと適切な人員の配置を進めるとともに、公益法人として適切な給与制度について、絶えず検討、見直しを行います。
- ・ 専門ごとの医師の確保対策を進めるとともに、専門技術職の採用・確保のため採用方法等を見直します。
- ・ 職員の意識改革を進めながら、役職に応じた業務の分析・対応能力を備えた人材の育成を図るとともに、働きやすい職場環境の整備を行います。

【主な目標】

・ 人員管理計画の策定	H27上期	策定
・ 採用パンフレットの作成	H27	作成
・ 採用試験等の見直し	H28	実施
・ 嘱託職員の雇用の在り方	H26	方針決定
・ 給与制度		
・ 類似団体等調査	H26	
・ 人件費率目標等の設定	H26	
・ 給与制度の見直し点検	毎年度	
・ 人材育成方針の策定	H26	
・ 自発的な勉強会への支援制度の整備	H27	
・ 職員考課制度	H28	本格実施
・ 働きやすい職場づくり	毎年度	運動方針決定

【平成29年度事業計画】

(1) **組織の見直しと職員数の管理**

- ・ 5つの検診センターのあり方 素案作成
【目標】 内部の検討会議を設置し、平成29年度内作成。
- ・ 最上C改築整備計画 素案作成
【目標】 内部の検討会議を設置し、平成29年度内作成。
- ・ 各検診Cの機能、業務量、職員構成等の検証を行い、今後適正な人員配置を検討

(2) **医師・専門技術職の確保対策の推進**

- ・ 医局医師の新たな体制整備

(3) **公益法人として適切な給与制度の検討**

- ・ 人件費等
 (再掲)
- ・ 働く職員が報われる給与制度の検討
 適切な給与制度への見直しに着手。
 働いた人が報われる給与制度の確立、職員考課制度の運用拡大。

(4) 計画的な人材の育成

- ・変化に対応できる人材育成のための中長期的な研修計画の策定

【目標】 平成29年5月まで策定。

- ・職員考課制度の運用拡大の検討
(再掲)

(5) 働きやすい職場づくり

- ・同一賃金同一労働への対応検討
- ・ワークライフバランスの推進

時間外縮減

【目標】 H28対比 1割減。

年休取得

【目標】 付与日数の50%以上。

会議の効率化

【目標】 原則1時間以内、資料の簡素化 (A4 1枚運動)。

II 法人運営等

1 役員会

- ・理事会 年3回、評議員会 年1回、監査 年1回
- ・役員等 評議員9名 理事10名 監事2名 顧問2名

2 山形検診センター組織改編

- (1) 渉外課を新設。法人全体の渉外力を強化。
- (2) 企画財務課を廃止し、事務管理課と統合。法人管理部門の簡素化を図る。

3 職種別職員数 (平成29年4月1日現在)

※下段()は、前年度の人数

職 種	事務(員)職	業務(員)職	診療放射線 技師	保健師	看護師	臨床検査 技師	管理栄養士	細胞検査士	合 計
正規職員	73人 (74人)	1人 (1人)	26人 (26人)	10人 (10人)	35人 (36人)	31人 (29人)	5人 (5人)	3人 (3人)	184人 (184人)
再雇用職員	1人 (2人)	—	2人 (4人)	—	—	1人 (1人)	—	—	4人 (7人)
嘱託職員	63人 (64人)	10人 (10人)	2人 (—)	5人 (3人)	26人 (25人)	7人 (6人)	—	—	113人 (108人)
合 計	137人 (140人)	11人 (11人)	30人 (30人)	15人 (13人)	61人 (61人)	39人 (36人)	5人 (5人)	3人 (3人)	301人 (299人)

※役員及び機構医師13名は含めず記載し、副所長級の医療技術職3名は、事務職に計上。

※再雇用職員は、フルタイム勤務者を記載し、嘱託職員(上段)は、年度内の雇用予定数を記載。

※新規採用職員2名(臨床検査技師)。

